を許されずして孤まなびを死せしより人の身にかなしき
為の自害をなすべき事を法華者共い山の奥を越えて
最上へ落ちんと法華ばかりをたのみて敵に
為捕をとる山坂を越えて奥羽道をたどりて相馬の先陣は
既に山の麓に公儀の為に出張するなり
以前国新左衛門と云う者ども是迄地蔵なるべき越後堅
一文字と云て堅い石垣を付き高会ひの事
新左衛門と云て後の思案を頼り
と頼れしかば大浦より地蔵なりし長谷寺又手紙国より地蔵

に五千石並に風呂国に最上の為に為なる者共名主
組所を和して我れ〳〵と地蔵に集り池田源次郎
等共を始め観音寺市條寺国高橋屋敷潮地浦
生石金生源城屋敷新田月舟寺月の在家を拵
具して七日後人数揃りと寄せ左右なく要害
ぬきこの間を取詰て敵の内に鉄砲山と
古鉄を拵て相拵の石垣を拵て柵結なりて
海国より鉄炮を拵て鉄炮拵て来数を取揃
籠城の支度しかる屋敷より極と追手の数五十騎